

目次

1 高次脳機能障がい者への就学  
支援

2017年も皆様にとって、  
良い年でありますように



### 1. 高次脳機能障がい者への就学支援

子供の高次脳機能障害の症状は基本的には成人と同じですが、本人だけではなく周囲も未発達で社会経験が少ないため、大人の支援が必要になることがあります。復学支援のポイントをいくつか整理してみましょう。

#### ①学校生活で起こりうる問題を具体的に整理する

- ・朝、登校して、夕方まで授業を受けて帰ることができますか？
  - ・みんなと同じ授業を受けていて勉強についていけそうですか？
  - ・友達とコミュニケーションがとれそうですか？ など、
- 問題を具体的に整理することが、具体的な支援に繋がります。

#### ②復学する学校環境や可能な配慮、使える制度や資源を確認する

- ・疲れた時に休める場所がありますか？
- ・個別対応など、特別な支援を受けることはできますか？
- ・助けてくれる仲の良い友達はいますか？

復学先の設備や人員では対応が難しい場合、別の方法を考える必要があります。誰が何を行うかを明確にしておくことでスムーズな支援に繋がります。学校に押し付けずに、保護者、学校、病院など複数の機関で子供を支えることが大切ですが、それぞれの場所で違う事を言われると子供は混乱してしまいます。支援者が足並みをそろえることも大切です。

友達の協力が得られるととても心強いです。いつ、どうやって助けたいかわからずに戸惑っていることもあるので、協力を依頼する時には具体的に伝えるようにしましょう。

#### ③本人や家族の精神的なケアも大切

障害を受容することはとても大変なことです。入院中は落ち着いていても、復学してから実感して深く悩むこともあります。今までできていたことが急にできなくなったことはとても辛いことです。効果的な方法だからと言って無理に受け入れさせるのではなく、本人や家族の希望やペースにも目を向けた支援が必要です。

#### ④定期的に支援者間で情報共有を行う

順調に見えていても、辛さをうまく訴えられず無理をしている子供もいます。毎日接しているからわかることがあれば、たまにしか会わないからこそ気づくこともあります。また、各支援者の立場によって受ける印象や捉え方が異なります。様々な視点からの情報を共有することで、問題が大きくなる前に気づいて対応につなげることができます。

※次号は実際の復学支援の事例を紹介します。

